

一 般 質 問

星野先生のメッセージを活かし 継続的なイベントの企画を！

尾 元 武 議員

問 周防大島町名誉町民の星野先生は「愛されていることを忘れないで」というメッセージを残しこの世を去られた。

作品の歌風は人生の応援歌であり同時にこの言葉はふるさと周防大島町を応援する最後のメッセージと受け止められる。「賑わいの創出」の一環としてその功績を称えると同時に、東日本大震災への支援活動として内外に発信し、町民が星野演歌に共にふれ合うイベントを継続的に企画してみてはいかがなものか。

答 節目々には検討する余地はあろうかと思うが、星野哲郎記念館は先生のふるさと大島への熱い思いと功績に応え、先生の歌の原点を大切に作る施設であり先生の長年に亘る音

楽活動を顕彰し後世に語り継ぐことを目的としている。企画展は年2回先生の事務所と協議を重ね、思考を凝



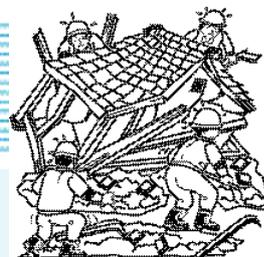
星野先生お別れ会

らし企画実施している。基本的には記念館を発信基地としてその意思を伝えることが使命と考える。

問 住宅リフォーム資金助成制度は地域の建築業界関係にとって景気回復の動機付けとして大いに期待するところ。より一層の地元経済の発展のため助成金額の一部を地元商品券、温泉入浴券等に対応してみてもは。

答 今のところ現金給付を考えている。今後、制度を利用された方の意見も聞きながら動向を見て、検討していく。

町政転流 (20)



- 御見舞申し上げます -

3月11日午後2時過ぎに起きた東日本大震災による津波は、あっという間に多くの尊い命を奪い、途方もない額の損害を与えた。後の検証では、波の高さは最大で15~16mにも及んだらしい。市や県が想定した津波の高さは、最大で10m。人類の英知をはるかに超えた自然の猛威の前に、我々はなすすべがなかった。

この津波が夜中に起きていたらと思うと、身の毛がよだつ思いだ。南海・東南海地震防災対策推進地域にの指定地域されている大島に住む我々には、対岸の火事では

すまされない。我々のできるだけの事はしておこう。

本町は3月18日、非常用に備蓄していた4千食分の食料を含め、防災用品700万円分を被災地に発送した。

今一度地域と行政が一体となった防災体制の強化が必要であろう。



(平野) 各支所に備えられた募金箱